



地球温暖化の防止に



高岡で農業を営む石田秀人さんが「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」で奨励賞を受賞しました。

石田さんは昨年、北海道指導林家の認定を受けています。農作業のかたわらトドマツ林の手入れにも力を入れ、Co2 抑制の観点から「環境にやさしい森づくりは重要」と話していました。

(12月18日)

当別小学校が 140 歳



町内で最も歴史のある当別小学校の開校 140 周年を祝う会が小学校体育館で開かれました。

当別を開拓した先人は、教育にも力を入れ明治 5 年 (1872 年) には私塾を始め、以来、卒業生は 16,000 名以上。この長い歴史を振り返るために、学校の歴史クイズ、卒業生の思い出インタビュー、そして 3 世代にわたって当小を卒業した親子がステージに登場するなど、様々な工夫のつまった会でした。全生徒と卒業生が元気に校歌も歌い、楽しい記念イベントとなりました。

(12月19日)

歯医者さんってすごい



町教育委員会と北海道医療大学の連携により「小学生 1 日歯医者さん」が開催されました。

金沢にある同大学歯科内科クリニックを会場に、町内の小学生 21 名が参加。白衣に着替え、歯科医師や研修医の指導で診療台に座ってお互いの口の中を調べる診断体験、練習用の歯を使って虫歯を削る体験を行いました。講座終了後に「子ども歯科医師認定証」が手渡されると、「友達の歯を見合ったことが楽しかった」「歯医者さんの仕事がすごくわかった」などの感想を話していました。

(1月9日)

広告

広告

広告

広告

Jリーガー目指して



FC当別U-12主催の室内サッカー「スーパーFリーグ」に近隣から18チームが参加、熱戦が繰りひろげられました。

午前中に小学校2・3年生、午後から4・5年生のチームが試合に望み、北海道ルール3ピリオド(休憩を挟み計25分)でゴールを狙いました。低学年向けの大会ですが、道内でも強豪チームが参加するなど、将来の有望選手を育てる大会でもあり、父母の応援にも力が入りました。FC当別は出場した2チームが対戦リーグ中、それぞれ3位と2位でした。

(1月14日)

素早い手さばき



当別町子ども会育成連合会の「新春子どもカルタ大会」に地域から43チームが参加、総合体育館で熱戦を繰りひろげました。

今年は各チームの保護者等、観戦者も多く、最近当別に移住してきたご夫婦も「下の句かるたで、こんなに大きな大会は素晴らしい！」と興奮気味に応援。子ども会の親睦行事ですが、一首一句の攻防に応援と拍手が高まっています。近年、太美地域のチームが常勝でしたが、小学生の部では緑町Aチームが全7時間にもわたる闘いを制し初優勝しました。

(1月20日)



広告

広告

広告

広告